

磐城毎日

社 長 大和田兵衛
社 址 福島縣平市
發行所 福島縣平市
15丁目12番
株式會社 磐城毎日新聞社
代表取締役 遠藤孝
印刷所 (平) 一〇番
電話 發行部 550 編集部 550
定価 1ヶ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

投稿歓迎

参院 濱通の熱戦は來月初旬 立會演説會の日割り決定

去る十三日立候補届出を切りとして來月初旬となる
完了した松平(自由)田中(社会)山下(民主)の各黨の
統一候補は十四日以來何れ
も中通り地区において舌
戦を展開中であるが熱戦を
想される濱通地区に陣
を張るのは來月一日の中村
町に於ける立會演説會を皮
切りにして來月初旬となる
ものと豫想される濱通地
区に於ける公營の立會演説
會の日割りは次の通りで平
市は二月二日で候補者の持
ち時間は一候補二十分であ
る。△同日原町小學校
△同日三日富岡町小學校
△同日四日小名濱町第一小
學校
△同日五日平市公會堂本館
の九〇分である。
△開演時間は何時も午後
六時三十分より九時五十
分まで

競輪場の中間検定 十六日來平實施す

二月七日より第二回競輪を
開催する事に決定した平市
競輪場は開催準備に忙殺さ
れているが競輪場の建設も
難工事を克服して豫定通り
の進捗を見たので東京都
全国自動車振興會検定指導
員杉本兼吉氏、並に仙台市
平市商工會議所議員
選挙に関する規則
第一章 規則
第一條 定款第二十三條第
二項に定める議員の選挙の
手續は、この規則の定める
ところによる。
第二條 通常の選挙は議員
の任期終了の日までにこれ
を執行する。
第三條 議員の選挙に關す
る告示は、本會議所の掲示
場又は平市商工會議所會報に
掲げ、これを執行する。
第四條 正議員はすべて議
員の選挙権及び被選挙権を
有する。
第五條 前條の選挙権及び
被選挙権は選挙人名簿確定
の日までに會費を納めない
ものはこれを有しない。
第六條 本會議所は、選挙
期日の十五日前現在をもつ
て、選挙人名簿を調製する。
第七條 選挙人名簿には、調
製の日から五日以内の日を
定めて關係者の閲覧を供す
こととする。
第八條 選挙人名簿に關し
て異議があるときは、前條
に定める閲覧期間内に本會

名簿洩れの 有権者の届

に谷川源の競輪場に赴き工
事の進捗状況について中間
検定を行った

主食の登録終る

登録もれば商工課へ

平市における主要食糧の登
録は立候補した四十三軒
の新舊お米屋さんが入り亂
れ議員選挙戦をこのけの
登録者の争奪戦を演じたが
十六日午前九時より次の六
ヶ所に於て一齊に開始され
午後四時終了した當日の登
録者は約七千六百名で市民
の九〇%である。
◎平市役所、◎第三小學校、
◎第二小學校、◎飯野支所、
◎神谷支所、◎飯野支所、
◎上同日午後四時四十二分
平發急行列車にて歸京した

高木政務次官の動靜

高木法務政務次官は年末年
始の挨拶のため舊暦二十
九日歸郷し相馬、双葉兩郡
十一時着列車にて來平市役
所に鈴木市長を訪問し懇談
の上同日午後四時四十二分
平發急行列車にて歸京した

小名濱の漁船

小名濱沖見町漁業協同組合
さん所有兼運丸(二四ト)相
馬沖一キロの地点で風波の
ため坐礁した、小名濱海上
保安部から現場へうす丸
が向つたが豊間港所屬の漁
船に乗組員十名は救助され
た

娘山林中で絞殺 犯人嚴探中

湯本町上湯長谷岩炭礦警
備隊事務松本ヨシ子(23)
さんは十三日朝出勤のため
家を出たが、行方不明とな
つて居たが、實父平四郎さん
が十六日午前十時半同町長

湯本町上湯長谷岩炭礦警
備隊事務松本ヨシ子(23)
さんは十三日朝出勤のため
家を出たが、行方不明とな
つて居たが、實父平四郎さん
が十六日午前十時半同町長

湯本町上湯長谷岩炭礦警
備隊事務松本ヨシ子(23)
さんは十三日朝出勤のため
家を出たが、行方不明とな
つて居たが、實父平四郎さん
が十六日午前十時半同町長



平市下平屋
川角牛乳店

日一時二十分平市三丁目
横山商店前街路上に於て硝
子切りの大道商人をのぞき
見して居るうちに肩より下
見た布袋中より現金九千九
十圓入りの財布を窃取され
午後二時頃平市署に届出た
犯人不明署では市署警察署
寫真九二八號に酷似して居
る者が被審者の腰の邊をさ
わつて居り、バスに乗つて急
走したことからそれではな
いかと推定して居る

十五日午前八時三十分古河
炭礦南坑三方で落盤、採炭
夫加藤住民(四)さんは腰骨
骨折全治まで約一年半採炭
夫高橋運次さん(三)は腰部
打撲三週間の傷を負つた

露店見物中すたる
石城郡赤井村鹽田宇北澤九
農大平政助さん(九)は十五

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

平市内に偽刑事

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

最近平市内に偽刑事が現れ
柳町の洋服仕立屋上妻スミ
さん同じく市内平窪佐藤自
轉車店でも「連日」にせ刑事
にゆすられて居る」と平市
署に訴へて居る同署では外
にも相當の被害があると見
て不良仲間を洗つて居る犯
人は色メガネを掛けた廿四
五才くらいの一見與太者風
の男で警察手帳にいろいろ
メモするまねをし大聲で話
すため明らかに營業妨害に
なり暗に金を強要すると
いふもの

希望と努力 (3)

早く死にたいなどといふが、それでも心の底には矢張り生きて居たいといふ念がある。是は昔の話ですが七十に近い或る老人が自分より年下の者の死ぬのを見て逆吐いて居たのだ」と知つた

成年の日の催し(平市)

東部青年會

中部青年會

西部青年會

各地区的催し

枕下の十萬圓

成年の日を祝う平市東部青年會主催、平市後援の武道大會は十五日午前十時より平地區舊武徳殿内で行な

十五日西部青年會では成人の日を祝して青少年の野球大會を行ふ豫定であつたが先日の降雪のためグラウンドの條件があまりよくなく延期

十五日夜湯本町三函山形屋温泉旅館に宿泊した双葉郡富岡町小濱同町公安委員味

団体優勝、新川町、個人入賞、優勝、新川町、個人入賞、優勝、新川町、個人入賞、優勝、新川町、個人入賞

お年玉はかき當選番號 特等は各組八五〇、八五八

必要が生ずるのであります。吾々には皆生存慾があつて、誰でも皆生きて居たいので

飲食とお酒の店 小柳 平本局前 電五二八

呼吸器科 後藤医院 後藤全久 平沼治町 電一〇三六

大衆食堂 さかえ 出前迅速 電話九八八番 平驛前東角

花長 江戸前風御座敷 天ぶらて白鷹の酒! 平市新田町中央 電呼一五二番